

憲法9条の重み、大切さ学ぶ集会に 上越九条の会発足20周年記念の“歌と講演のつどい”

上越九条の会が発足してから20年ということで、それを記念する歌と講演のつどいが11日、リージョンプラザで開催されました。130人ほどの市民が参加しました。

第一部は歌声サークルだけのこのみなさんによる合唱です。「青い空は」「折り鶴」「手のうた」「ケサラ」などを見事に歌いあげました。このうち「手のうた」は手話付きで素敵でした。「ケサラ」は「人間の優しさをうたえ 明日に向かって力づくよく……」がいつまでも耳に残る歌声となりました。この歌は講演後、全員合唱しました。イラストは「ケサラ」を歌う場面です。

第二部は九条の会の世話人で、弁護士の伊藤真さんによる記念講演です。タイトルは「武力で平和はつukれない：いまこそ憲法をいかす社会を」でした。

伊藤さんは120枚以上のスライド

を駆使しながら、自分が幸せになるために、社会をよりよくするために、憲法をしっかり学ぼうと訴えました。

印象に残ったことのいくつかを書く
と、「憲法13条や9条は理想だからこそ、理想に向かうプロセスが重要だ。憲法は“未完のプロジェクト”だ」「軍隊の価値原理は、本質的に市民社会の価値原理(個人の尊重、人権尊重、民主主義)とは相容れない。自衛隊を憲法に

明記する改憲を進めることは、このよう
な異質な軍事的組織に憲法が正当性を与えることになって、日本が普通の軍事国家になっていくことを意味する」「イラン・アフガン戦争に派遣された米

軍兵士は約300万人。戦死者は7057人だが、帰国後自殺した兵士は戦死者の4倍、3万1777人もなる」となります。最後の「我々と子孫のために

ゆっくり、急いで一歩一歩歩もう」とい

う言葉も強く印象に残りました。

集会の最後、世話人のみなさんから増えた。あとを継いで下さる人がほしい」「九条の会の取り組みはコンクラベだと思う。ハトが飛ぶかミサイルが飛ぶかだ。これから元気にやっていきたい」「いい世界をつくりましょう」といった発言がされ、大きな拍手に包まれました。

集会に参加した人たちからは、「日本の歴史のみならず、世界の歴史を振り返ってのお話、新鮮だった。9条の大切さ、重みを感じられた」「詩と講演の組み合わせが良かった。講演は目からウロコだった」「早口だったけど一言も言い間違えが無く、すぐくわかりやすかった。9条を守るには不断の努力が必要だ。ゆっくり急いで頑張っていきたい」という感想がありました。



2025.5.11
Eitoh



Eitoh
2025.5.11

右のイラストは左から講師の伊藤さん、宮川さん、円照寺住職の藤島さん、関口さん。



直江津平和記念公園の天女像



順調に育つコウノトリのヒナたち。14日撮影。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.871

2025年5月18日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>